

連帯感をもって地域の絆を強めていこう！

小菅ヶ谷地区の皆さまには、日頃より小菅ヶ谷地区社会福祉協議会の活動にご理解、ご支援、ご協力を賜りまして厚く御礼を申し上げます。

さて皆様もご存じかとは思いますが、私たちが住む栄区は横浜市の中で人口減少が進んでいる地区の1つで更に高齢化率も高いのですが、逆に元気な高齢者も多いという特徴を持った地区であります。

この様な中、今回の「社協だより」では令和6年度の事業計画や予算等と共に前年度の活動報告を掲載させていただきました。

個々の施策につきまして、その目指す方向は連帯感をもってぜひ地域の絆を強めていきたい、少しでも安心して暮らすことのできる私たちの町作りを目

指したい、今出来る事から地区の課題に取り組みを始めていこうということでございます。

また、能登半島地震が他人事ではなく、いつ何時でも、どこかで突発的に、発生する可能性が有ります。防災対策と共にご近所との日頃の連携もお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様どうかコロナ感染症の警戒を怠らない様お願い致します。最近余り報道がなくなって来ておりますが、私自身5類分類以降で、7回接種後に罹患しております。私事で恐縮ですが皆様の警戒が強まればと思い記しました。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

会長 十亀 聡

令和6年度事業

- 地域福祉を推進するための調査及び研究
 - ・在宅の高齢者(70歳以上)の実態把握
- 地域福祉を推進するための事業の企画及び実施
 - (1)高齢者並びに障がい者福祉のための活動
 - ・見守りを兼ねた配食サービス及び高齢者懇談会(いちご会事業)
 - ・中途障がい者及び障がいのある高齢者の交流会活動(実管会事業)・あいたく事業
 - ・敬老の集い開催(文化事業)
 - 9月14日(土)14時~栄公会堂(たっちーらんど)
 - ・敬老記念品の贈呈
 - (2)地域福祉や地域の困りごとや課題をテーマに研修会を開催
 - ・「子育て支援や次世代育成」
 - ・「災害時に関する取り組み」
 - ・「地域の支え合いに関すること」など
 - (3)青少年育成活動や児童福祉のさらなる活動支援
- 地域住民の健康づくりを推進するための団体・機関との連携を図り地域住民の健康寿命延伸の支援をします。
- 栄区社協との共催事業「栄区フードパントリー」「地域移動販売支援」などの福祉活動への積極的な取り組み。
- 福祉活動に取り組んでいるボランティア団体との連携を深め活動を支援します。
- 会報「小菅ヶ谷地区社協だより」の発行
- 小菅ヶ谷つながるプラン推進会議に参画し、計画推進に取り組みます。
- 小菅ヶ谷連合町内会自治会との連携
- 賛助金の募集
- 栄区社会福祉協議会との連携
- 本会の目的達成のために必要な事業の実施

令和6年度予算書

自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日

＜収入の部＞		単位:円
項目	予算額	摘要
前年度繰越金	633,108	
区社協他補助金・助成金	200,000	区社協、市社協、連合町内会
町内会・自治会からの賛助金	800,000	
町内会・自治会からの分担金	300,000	
区社協賛助会費還元金	20,000	あいたく事業助成金
その他	0	預金利子他
合計	1,953,108	
＜支出の部＞		
事業費	1,360,000	敬老のつどい(会場費他) 200,000 敬老記念品 500,000 実管会 140,000 いちご会 290,000 あいたく事業助成金 50,000 自主研修費 30,000
広報費	90,000	地区社協だより3回発行
調査・研修費	12,000	研修参加費
事務費	30,000	印刷費・通信費・事務用品費他
会議費	10,000	定例会お茶代
渉外費	50,000	慶弔費・行事参加費
助成金	130,000	民生委員、保健活動、つながるプラン、ひだまり、ルピナス、いろどりキッチン、にじいろ
会費	10,000	区社協、交通費
予備費	411,108	(翌年度繰越金)
合計	1,953,108	

令和5年度の主な活動報告

《コロナ後の社協活動》

令和5年度は新型コロナウイルス感染症に留意しつつ、「敬老のつどい」や「高齢者懇談会」を開催。みなさんの元気なお姿を拝見できました。また、町内会のお力を借りて、70歳以上の2,672名の方に敬老記念品のタオルをお配りしました。

見守り訪問を兼ねた「いちご会」の配食や「実音会」も区社協提案の「あいタク」事業を活用しながら予定通り活動できました。

《地区社協だよりの発行》

例年通り年3回発行いたしました。(全戸配布)

- ◆第37号 令和5年6月1日発行
- ◆第38号 令和5年12月1日発行
- ◆第36号 令和6年3月1日発行

特に令和5年においては、新型コロナウイルス感染症の5類移行後には様々な活動が再開となりました。

まだ本格的とはいえませんが、感染症予防に留意しつつ開催された行事でみなさまが楽しんでくださっている様子をお伝えしました。

また、いただいた分担金や、それからみなさまの気持ちのこもった賛助金がいったいどのような行事に使われているのか、どのような団体の助成金として使われているのかを分かりやすくお伝えすることに注力いたしました。団体の助成を含めると、赤ちゃんから高齢者まで幅広い年代を対象として事業を行っていることがお分かりいただけると思います。

《令和6年度小菅ヶ谷地区社会福祉協議会役員》

役員	名前
会長	十亀 聡 (栄区体育協会理事)
副会長(東部)	久家 明夫 (小菅ヶ谷第一町内会会長)
副会長(中部)	倉田 由木 (市営小菅ヶ谷第二住宅自治会会長)
副会長(西部)	田中 久美子 (小菅ヶ谷地区民児協会会長)
会計	小泉 邦広 (青少年指導員協議会副会長)
事務局長	野村 伸子 (小菅ヶ谷地区民児協副会長)
理事	池谷 圭子 (民生委員児童委員 いちご会担当)
理事	前田 泰男 (スポーツ推進委員連絡協議会会長)
理事	佐野 光生 (保健活動推進員副会長)
理事	田中 伸一 (いきいきこすがや長)
理事	涌井 秀治 (小菅ヶ谷第一町内会会計)
監事	田中 稔 (シニアクラブ爽和会会長)

令和6年度もがんばります！ よろしく願いいたします。

《他団体との連携》

- ・小菅ヶ谷連合町内会自治会活動に協力いたしました。
- ・「小菅ヶ谷つながるプラン推進会議」に参画しました。
- ・栄区社協「地区社協分科会」に参加し、他の地区社協との情報交換・連携に努めました。

下記の通り決算報告いたします。

福祉賛助金にご協力いただき、ありがとうございました。おかげさまで、新たに設立された多世代交流サロン等の助成を含め、幅広い年代に向けた様々な福祉活動を活発に行うことができました。役員一同、感謝いたします。

《令和5年度収支決算書》

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日 単位:円

＜収入の部＞			
項目	予算額	決算額	摘要
前年度繰越金	719,278	719,278	
区社協他補助金・助成金	200,000	200,000	区社協、市社協、
町内会・自治会からの賛助金	840,000	744,820	
町内会・自治会からの分担金	300,000	290,650	
区社協賛助会費還元金	20,000	20,000	あいタク事業助成金
その他	0	33,006	預金利子、祝い金他
合計	2,079,276	2,007,952	
＜支出の部＞			
事業費	1,360,000	1,078,859	敬老記念品(タオル) 409,860 いちご会(前期分のみ) 145,000 実音会 140,000 あいタク事業助成金 50,000 敬老のつどい関連経費 275,287 敬老懇談会、他事務費 57,712
広報費	90,000	79,130	地区社協だよりの発行
調査・研修費	20,000	12,000	研修会、意見交換会参加費
事務費	60,000	28,154	印刷費・通信費・事務用品費他
会議費	10,000	9,591	定例会お茶代 他
渉外費	50,000	42,000	慶弔費・行事参加費 他
助成金	105,000	105,000	民生委員、保健活動、つながるプラン、ひだまり、ルビナス 他
会費・他	7,000	10,000	区社協、交通費
予備費	377,276	643,218	(次年度繰越)
合計	2,079,276	2,007,952	

令和6年度

「賛助金」のお願い!

さらに幅広い年代に向けた地域福祉活動を行うために、地域の皆様のご協力が欠かせません。本会の趣旨をご理解いただき、今年度も賛助金を含めたご支援をお願い致します!

令和6年度の地区社協の活動が走り出しました。今年度はさらに多年代の方々に参加していただける活動となるように努力していきたいと思っております。みなさまのご協力をどうぞよろしくお願い致します。 役員一同